

### 今号の記事

ブロック支部交流集会…2面/主張・請願署名提出…3面/北から南から…4・5面/みんなのひろば…6面/年金者文芸・パズル…7面/わが支部/わが町/旅・たび(熊本県本部)…8面

# 年金者 しんぶん

第436号 2026年4月15日(水)  
(通巻第635号)

全日本年金者組合中央本部

〒170-0005東京都豊島区南大塚1-60-20天翔大塚駅前ビル  
発行人 岩崎 勇 月刊1部100円(組合費に含む)  
昭和57年6月30日第三種郵便物認可

2026.02 組合員数95,013人

連絡先 電話03(5978)2751

FAX03(5978)2777

honbu@nenkinsha-u.org

ホームページ/年金者組合で検索



(注) デューク・エイセス  
1955年から2017年まで62年間活動した、日本の代表的な男性4人のコーラスグループ。「いい湯だな」「幼なじみ」「女ひとり」などが知られています。紅白歌合戦出場10回。



## 元デューク・エイセストップテナー 大須賀ひできさん

# 「平和でなくては歌えない」 感動と「ときめき」届けるテナーの響き

元デューク・エイセスのメンバーでシンガーソングライターの大須賀ひできさんが、5月から熊本、鹿児島、宮崎をめぐる、コンサートを開きます。このツアーには当地の年金者組合支部が主催するものもあります。ツアーの前に大須賀さんに聞きました。

「感動が胸に広がるコンサートです」。大須賀さんのコンサートの開催に毎年とりくむ、年金者組合熊本支部執行委員の宮本洋治さん(本紙8面)の話です。熊本ではことしも12カ所予定しています。「参加費たった千円ですよ。大須賀さんには心苦しいのですが、大須賀さんは歌える場があり、みなさんに喜んでいただけるのがうれしい、とおっしゃるんです」

大須賀さんは元デューク・エイセスのメンバー。17年にデューク・エイセスが解散。翌年からソロコンサートを本格的に再開しました。「自分の暮らしている街で生の歌と楽器を楽しむ、ときめいて、いただきたい」。大須賀さんの変わらぬ思いです。コンサートは大須賀さんにとって「デューク・エイセスの歌を歌い継いでいく大事な仕事」の場でもあります。そして世界中で平和が崩されているいま、「平和でなくては歌えない」とプログラムには、平和の

歌を入れて歌います。大須賀さんは、1977年シンガーソングライターとしてデビュー。レッスンを受けた「ボイストレーニングの先生」からすすめられ、ダンスの学校に通いました。「人前で歌うには歩き方、立ち姿、呼吸が大事だと学び、世界がぐんと広がりました」。それは1992年のミュージカル「ミス・サイゴン」のオーディション合格、94年の「レ・ミゼラブル」への出演にもつながり、ミュージカル俳優としての地歩を築きました。

大須賀さんのライフワークは「紙芝居ミュージカル」です。「子どもたちの作品があります。5月には九州ツアーが始まります。どこでもいつでもコンサートができるように」と車一台に能の原典があると思うからです。みずから絵も手掛け、「竹次郎物語」や「ぞうれっしやがやっ」と「ときめき」のコンサートを届けます。

大須賀ひでき  
1956年11月東京新宿生まれ。高校生の時からLIVE活動。2009年6月デューク・エイセスのトップテナーとして加入。2017年デューク解散後はシンガーソングライター、ミュージカル俳優として活動。年金者組合熊本本部が毎年6月に開催する「大須賀ひできコンサート」に出演。年金者組合コンサートは現在、宮崎、鹿児島へと広がっている。

### プロフィール



### 機関紙コンクール開催 2026年4月30日中央本部必着

- 対象紙  
都道府県本部および支部と各女性部の機関紙誌で3月と4月に発行したもので、(ただし年間を通じて定期発行しているものに限る)
- 締め切り  
2026年4月30日(木) 中央本部必着
- 応募方法  
各号とも10部、封書の表に「機関紙コンクール参加」と朱書きを
- 選考基準  
中央本部の機関紙コンクール「審査基準」により、最優秀賞、優秀賞、入賞、奨励賞を選出する
- 選考委員会  
中央本部役員、編集委員から10人程度と日本機関紙協会協会代表で構成
- 発表・表彰  
6月11日・12日の第49回中央委員会で発表・表彰します

は、その場での加入も生まれている。また、私たちの文化・レク活動は多くの高齢者の要求と合致するもの。そのことを通じて高齢者の仲間の輪をさらに広げていこう。「仲間が仲間を(増やす)組織活動のスタイルをつくり、全県・全支部が、目標達成に総力上げよう。

### 風雪

4月1日  
から春の  
月間がス  
タートし  
た。後退  
から前進  
への決意

は全国オンライン決起集会で固まった。私たちが地域で要求を実現し、そしてその存在の国民的社会的な影響力を考えた時、何としても組織の後退を阻止し前進しなければならぬ。春の目標は435支部、3648名となった。情勢は、異常な物価上昇と年金引き下げで食費を切り詰めるなど暮らしは深刻になっている。くらしと年金改善を正面からかかける年金者組合の存在は、多くの国民から支持をされ、街頭や地域で打って出たところでは、その場での加入も生まれている。また、私たちの文化・レク活動は多くの高齢者の要求と合致するもの。そのことを通じて高齢者の仲間の輪をさらに広げていこう。「仲間が仲間を(増やす)組織活動のスタイルをつくり、全県・全支部が、目標達成に総力上げよう。